

森 悠子 (もり ゆうこ)

2011 年度 COE フェロー

専攻分野：開発経済学、労働経済学

研究テーマ：途上国における民主主義の諸機能の解明・労働市場政策が貧困に与える影響
についての実証分析

博士学位請求論文題目 (予定)：

多面的社会における民主的制度の諸機能の解明—インドにおける実証分析—

学歴

2005 年 3 月 北海道大学農学部農業経済学科卒業

2007 年 3 月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了、経済学修士

2007 年 4 月 一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程入学

2011 年 4 月現在 同課程在学中

職歴

2006 年 4 月～2008 年 9 月 経済産業研究所、RA

2007 年 8 月～2008 年 3 月 一橋大学経済学研究科 COE、RA

2008 年 10 月～2009 年 3 月 一橋大学大学院経済学研究科 COE、RA

2009 年 4 月～2011 年 3 月 特別研究員 DC2 採用

2011 年 4 月～2012 年 3 月 一橋大学大学院経済学研究科 COE フェロー

研究業績

論文・ディスカッションペーパー等

- [1] Kawaguchi, D. and Y. Mori (2009) "Is Minimum Wage an Effective Anti-Poverty Policy in Japan?," *Pacific Economic Review*, Vol. 14, No. 4, pp. 532-554. [査読有り]
- [2] Kimura, H., Y. Mori, and Y. Sawada "Aid Proliferation and Economic Growth: A Cross-Country Analysis," *World Development*, forthcoming. [査読有り]
- [3] Kawaguchi, D. and Y. Mori (2008) "The Stable Wage Distribution in Japan 1982-2002: A Counter Example for SBTC?," RIETI Discussion Paper Series. [査読無し]
- [4] 川口大司、森悠子 (2009) 「最低賃金労働者の属性と最低賃金引き上げの雇用への影響」、『日本労働研究雑誌』、No.593、pp.41-54. [査読無し]
- [5] 森悠子 (2011) 「異なる民主制における社会的分断と再分配」、『国際開発研究』、20 巻、1 号、近刊. [査読有り]

学会報告（共著の場合、報告者に○）

- [1] 川口大司、○森悠子「Is Minimum Wage an Effective Anti-Poverty Policy in Japan?」、『日本経済学会』、京都、2009年6月。[ポスター報告、事前審査有り]
- [2] 森悠子「留保議席制度と投票行動—インドにおける実証分析—」、『第五回応用計量経済学コンファレンス』、大阪、2010年11月。[口頭報告、事前審査有り]
- [3] 森悠子「留保議席制度と投票行動—インドにおける実証分析—」、『国際開発学会』、東京、2010年12月。[ポスター報告、事前審査有り]
- [4] 森悠子「留保議席制度と投票行動—インドにおける実証分析—」、『南アジア学会月例懇話会』、東京、2011年5月。[口頭報告、事前審査なし]
- [5] 森悠子「選挙区の規模と投票率—インドにおける選挙区固定の影響—」、『国際開発学会』、東京、2011年6月。[口頭報告、事前審査有り]

その他（学術雑誌等又は商業誌における論文解説、インタビュー）

- [1] 川口大司、森悠子（2009）「最低賃金は日本において有効な政策か?」、『RIETI Highlight』、27号、pp30-33.
- [2] 坂本徳仁、森悠子（2010）「2010年3月実施のアンケート調査の分析結果について」、全国難聴児を持つ親の会季刊誌『べる』、No. 150, pp16-23.
- [3] Mori, Y. and Kurosaki, T. (2011) "Does Political Reservation Affect Voter Turnout?," *The Hindu*, the 6th May.

照会先

黒崎卓（一橋大学経済研究所教授）、川口大司（一橋大学経済学研究科准教授）